

1964年 11月 15日

親愛なるボブとアン エイトケンさん

手紙をありがとう。 ダイヤモンド僧伽が順調に成長している由、嬉しく思います。

11月9日、私達は、安谷老師の新居、たいけい庵を訪ねました。 残念ながら、老師はハワイ来訪を中止しましたが、これは老師から、直接貴方への手紙で既にご存知のことと思います。 私の及ぶ限り、老師に、ここう庵の状態を説明したのですが、中止しなければならなかった最大の理由は、助手として、通訳、彼の本の翻訳のために頼りにしていたタイさんの不在で、私は彼に対して何も言う事が出来ず、タイさんの代わりを推薦する事も出来ませんでした。

前に貴方と話し合った時、大きな問題はタイさんの不在ではなく、ダイヤモンド僧伽の状態自体にあると思ったのですが、しかし、タイさんの不在は確かに老師にとって大きな問題です。 なぜなら、タイさんの援助なしには、彼は効果的な仕事が出来ないのです。 どうか、この事をよく理解して、老師に対しても、タイさんに対しても、悪感情を抱かないで下さい。

この中止は老師と貴方との関係を絶つものではありません。 老師は将来、ダイヤモンド僧伽を助けるために行くと言っていました。 私は貴方が、老師のために家を建て、その他の様々な手続きを取って、老師を迎える努力をされた事を知って大変悲しく思いました。

しかし、事情は変わりました。 私は貴方を助ける為に、何も出来ないことを非常に残念に思います。

どうか、私を許し、私達の事情を友好的に解釈して下さい。 大きな問題は、老師はタイさんの援助が必要だと言う事です。 老師は将来、タイさんと共にニューヨーク近辺へ行くかもしれません。（現在のところ、確定はしていません） しかし、どうか、彼が貴方を避けているとは思わないで下さい。 私達は皆、常に、ダイヤモンド僧伽のために、祈っています。

タイさんの背反は絶対に忘恩的です。 おそらく、彼も自分の行為を悔いているに違いありません。 しかしながら、これらは過ぎてしまった事です。 既になされてしまった事を、やり直す事は出来ません。 どうか、寛大に、すべてを許し、忘れ、従来からの友好的な雰囲気を保つよう心がけて下さい。 これが現在において、唯一最高の解決策だと思います。

どうか、無私の心で、これらを考えて下さい。 これが私の貴方に対する心からの願いです。

私はあまり良い英語を書けなかったと思います。 多くの間違いがあると思いますが、お許し下さい。 貴方とダイヤモンド僧伽のメンバーの皆様の最善を祈ります。

敬具

福井 どうかい